

# 座る、移動する日常生活にやさしい自立と介護を。

## 車いすの種類

### 自操式車いす

使用者自身が操作できる後輪が大きく、ハンドリムが付いた車いす。



### 介助式車いす

介助者が押して移動し、後輪が小さく小回りがきき軽量な車いす。



### リクライニング・ティルト機能

車いす自体に姿勢を変える機能を持たせ、姿勢の保持をしやすくする車いす。



### 電動車いす

わずかな力で操作ができ長距離の移動に便利な車いす。電気の力で動くため操作の確認が必要になります。



## 車いすの便利な機能



#### スイングアウト

フットサポートが外せ移乗に便利。



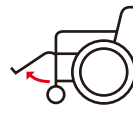
#### 肘かけ

肘かけが外せたり、はね上げれたり、車いすの横からの移乗に便利。



#### 背張り

背シートのはり調節により背中への圧迫を軽減。



#### エレベーターング

脚部の上下角度を自由に変更できる。



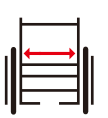
#### リクライニング

車いすの背もたれの角度が調節できます。



#### ティルト

背角度をそのまま座面角度を変えることができ姿勢保持をしやすくします。



#### 座幅

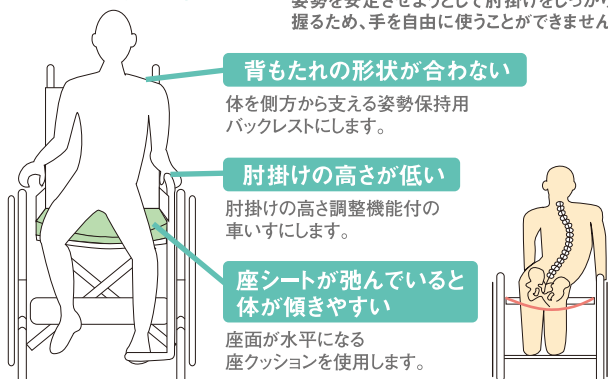
座シートの幅。

## 車いすに座ってのチェックポイント

機種が決まったら、実際に座ってみてください。座った時は良くても、操作したり、長い時間座っていると姿勢がくずれてくる場合があります。車いすが使用される方の体に合っているかどうか、実際に使用する条件に即して判断することが大切です。

### ●体が横に倒れる

体のバランスが悪い場合に起こります。姿勢を安定させようとして肘掛けをしっかり握るため、手を自由に使うことができません。



### ●お尻が前方にずり落ちる

いわゆる「ずっこけ姿勢」のことで、ふだん体重の乗らないところに圧力がかかるため、お尻が痛くなります。

#### 座り方が悪く、浅く座っている

良い姿勢で座るための乗り移り方法を考えます。

#### 座シートの奥行きが長すぎるため、浅く座ってしまう

体に合った座シート長の車いすにします。

#### フットレストの高さが合っていない

フットレストの高さを合わせます。

